学校だより　３月号

令和６年２月２９日

新吉田

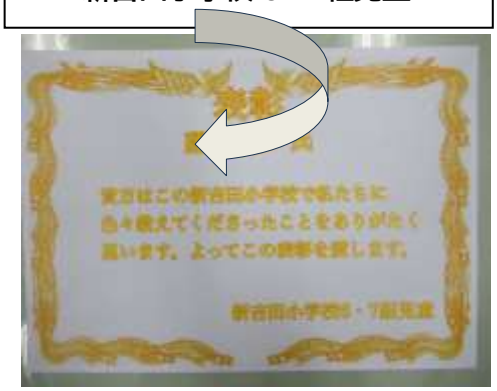
http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/shinyoshida

横浜市立新吉田小学校

みる人も　する人も　りっぱに

校長　関谷　道代

新吉田小学校で私たちにいろいろ教えてくださったことをありがたく思います。よって表彰します
新吉田小学校６･７組児童



２月15日、近隣の5校の小学校の個別支援学級の子ども達が集う港北区小学校ブロック別合同学習発表会がありました。

「みる人も　する人も　りっぱに」を意識して、しっかり発表を成し遂げた子ども達は、横浜市教育委員会からの賞状を受け取りました。
でも、賞状をもらった子ども達は、不満そうにつぶやきました。

「ぼくたちだけもらうのは、おかしいよ。
先生たちは、ぼくたちに教えてくれたり、遅くまで準備したりしていたのに。 先生たちがもらえないのは、おかしいよ。」と。

その日の5時間目。
子ども達は、先生方にサプライズで賞状を渡しました。
【←】 これが「先生への表彰状」です。

合同学習発表会は、令和元年度に港北公会堂で行って以来、コロナ禍においても、ビデオに撮ったものを回して行うなどの工夫で細々と続けていましたが、今年度のように対面で行ったのは4年ぶりでした。

スローガンは、**「みる人も　する人も　りっぱに」**

「みる人」は、子どもと保護者の方々。演技や演奏を見ていいなと思ったら、自然に沸き起こる拍手や「すごいなあ」というつぶやきがありました。あたたかいまなざして見つめてくださる保護者の方々の力も大きいです。
「する人」は、演技や演奏をする子ども達。笑顔で堂々と、練習の成果を十分に発揮しようとする姿。
もちろん、準備を「する人」も含まれます。プログラム作りや椅子ならべなど、会場準備をしてくださった綱島小学校の子ども達や教職員の方々。指導してくださったそれぞれの学校の先生方。そういった人たちのことに、しっかり気付ける子どもに成長してほしいと思いながら、演技や演奏を見ていました。その願いが伝わっていることが分かる行動です。

まもなく、6年生が卒業します。感謝の気持ちをもつ心の豊かな子どもに成長して、次のステージに向かいます。2月22日の「卒業を祝う会」でも、てきぱきと楽器の準備をする凛々しい姿や、友達の演奏やスピーチを真剣に聞く横顔で、保護者に感謝する気持ちを表していました。

どの場面を切り取っても、**「みる人も　する人も　りっぱ」**な子ども達。心豊かに感謝の気持ちをもって、それぞれの成長過程で今年度の締めくくりを行っています。ラストスパートは、次へのスタート。

今年度も、本当にありがとうございました。地域の皆様、保護者の皆様、心よりお礼申し上げます。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。